

令和5年度九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会  
九州沖縄果樹研究会開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会長  
農研機構九州沖縄農業研究センター 九州沖縄果樹研究調整役

1. 趣旨

九州沖縄地域における果樹に関する研究を推進するため、果樹推進部会における重要検討問題の検討結果を踏まえ、それらの技術シーズについて情報の共有をはかることを目的に研究会を開催する。

現在、国が進める「みどりの食料システム戦略」では化学肥料の削減および有機農業の拡大が進められている。一方で現下の果樹産業の状況を見ると化学肥料等生産資材の高騰により、生産コストの低減は重要な課題となっている。そのような状況から果樹推進部会では R5 年度重点検討事項の素材として、「肥料等生産資材高騰に対応した果樹農業生産コスト低減技術の開発」を決定した。今後、堆肥等の有機資材の利用拡大が必要であるが、果樹生産では肥効の発現が品質に大きな影響を及ぼし、その活用技術が確立されていない。そこで、今回の研究会では、畑作物での研究が進められている有機資材の肥効見える化技術の開発研究者を招き、本技術についての見識を深め、今後の果樹栽培での有機資材利用の促進に向けた課題、さらにはその他生産コスト低減技術について考える。また、各県からの課題提供および現地検討会において「今後の果樹産業の活性化、収益性向上に資する技術シーズ、研究成果」について情報共有、意見交換を行う。

2. 日時：令和5年5月17日（水） 13：30 ～ 5月18日（木） 14：00

3. 場所：

熊本市国際交流会館会議室（5階大広間）

（〒860-0806 熊本県熊本市中央区花畑町4-18 TEL 096-359-2020）

熊本県農業研究センター 果樹研究所

（〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福2566 TEL 0964-32-1723）

4. 参集範囲：

九州・沖縄地域試験研究機関・行政普及部局、大学、団体等の関係者、農研機構、その他果樹推進部会長が必要と認めたもの

5. 日程の概要：

1) 研究会： 5月17日（水） 13:30 ～ 17:00

(1) 招待講演（九州沖縄果樹試験場長会後援）： 13：40 ～ 14：40

「有機質資材の肥効見える化技術と果樹栽培での活用」（仮）

九州沖縄農業研究センター 古賀 伸久

(2) 話題提供（各県よりトピックス、一押し成果、新たな取り組みなどを紹介、1課題15分）

14：40 ～ 17：00

- ① ナシ新梢の退緑斑点症状および幼果の果梗裂傷の発生状況と被害軽減技術  
熊本県農業研究センター果樹研究所 後藤聖士郎
- ② シャインマスカットの貯蔵技術の改善による輸出支援  
大分県農林水産研究指導センター農業研究部 渡邊久能
- ③ カンキツの早期成園化のための大苗育成技術  
福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター 松本和紀
- ④ 奄美地域における露地栽培「津之輝」の高品質安定生産技術（仮）  
鹿児島県農業開発総合センター大島支場 坂上陽美
- ⑤ カンキツのジベレリン利用による着花抑制技術と省力化の取組（仮）  
宮崎県総合農業試験場果樹部 山名宏美
- ⑥ with コロナ対応型地域内新流通の構築とカンキツの計画出荷によるスマートフードチェーンの実証  
長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門 高見寿隆
- ⑦ 温州ミカンにおけるリン酸・カリの減肥栽培（仮）  
佐賀県果樹試験場 石本知香
- ⑧ パインアップルにおける省力施肥法の検討および対応した品種開発（仮）  
沖縄県農業研究センター名護支所 前川龍太

2) 現地検討 : 5月18日(木) 8:30 ~ 14:00

場所：① J A 熊本市柑橘選果場

②熊本県農業研究センター果樹研究所（カンキツ関係：施設「肥の豊」、温州ミカン園等 落葉関係：モモ「さくひめ」トンネル栽培、ナシ「甘太」等）、

※ なお、現地見学場所については状況により変更もある。また現地見学の移動には、借り上げバスを利用する。また、上記検討時間には昼食時間（弁当：於 果樹研究所研修館）を含む。

6. 申込期限 : 4月 17日(月)

7. 参加申込書(別紙1)送付先

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 2566

熊本県農業研究センター果樹研究所 常緑果樹研究室長 北村 宛

E-mail : kitamura-m@pref.kumamoto.lg.jp TEL : 0964-32-1723 FAX0964-33-1575

8. 話題提供資料作成と送付先

別途、話題提供者に連絡する。

9. その他